



1 全校道徳 命の大切さをあらためて考えて欲しい。

4月23日(水)の第3校時に、全校道徳を実施しました。資料文は、校長が作成しました。この題材は、校長の実際の体験を元にして、教材化したものです。

時間をかけてじっくり作成したものではないので、あまりよい資料文にはなりませんでしたが、生徒たちは担任の先生の「道徳」の授業の中で、真剣に考えてくれました。

以下に、拙い資料文ですが、ご紹介します。

犬だけど・・・・・・・・

校長先生は、大津町にある [] に買い物に行くのが大好きです。

なぜかって？

それは、校長先生の奥さんが買い物をしている間、中にあるペットショップで子犬を見るのを楽しみにしているからです。

もう何年も、そのペットショップに通っています。

でも、あるとき、校長先生の奥さんが

「見に行くのはやめてください。」

と、言いました。

「えっ！なんで？」

と校長先生は思いました。

平成13年の5月、その年の3月13日に生まれたばかりのシーズー犬が校長先生の家にやってきました。

今25歳になる息子が中学校に入学したばかり、下の子はまだ3歳の頃でした。

名前をなんにするか、みんなで考えましたが、校長先生の勝手に、往年の名レスラー、ルー・テーズにちなんで、「テーズ」としました。シーズー犬の「テーズ」です。時々、字が似ているということで「チーズ」と間違えられます。アンパンマンのまねをしたなんて思われることもありましたが、家族の愛情を受けて「テーズ」は子どもたちと一緒に成長しました。

「テーズ」はいつも子どもたちと一緒にです。ご飯を食べるときも、寝るときも一緒でした。旅行に行くときも、一緒に出かけました。以前は飛行機に乗ることもできましたので、飛行機に乗って遠出したこともありました。

いろんなことがありました。二人の子どもそれぞれ、つらくて泣いているときも、うれしくて笑っているときもいつも一緒でした。

上の子は、今25歳、就職して家を離れて一人暮らしをしています。時々帰ってきたときは、「テーズ」と一緒に寝ています。

下の子は、高校2年生、高校の近くにアパートを借りています。下の子も、毎週末帰ってくると、「テーズ」と寝ています。

ですから、校長先生夫婦には「テーズ」は子どものような気がしています。

でも、「テーズ」は、人間でいうと、もう九十歳くらいのおばあちゃんです。

「なぜ校長先生の奥さんは、ペットショップに犬を見に行く校長先生を止めるのでしょうか。」

ということを切り口に考えていきました。

生徒のワークシートから感想を集めてみました。



このクラスや学校の先生、家族とか誰もかわりはないんだということを改めて感じることができました。だから、今一緒にいる人たち、みんなを大切にしていきたいなと思いました。

今日の授業で改めて普通に授業が受けられて、食事を食べられて、運動ができることに感謝したいと思います。人はいつどうなるか分からないとよく聞くけれど、本当にそうだと思います。明日、普通にできていたことができなくなるかもしれません。今を大切に生きて、今生きている周りの人にも感謝して、人を大切にしていきたいと思います。

普段ではあまり死について深く考えることはなかったけれど、学習を通して、人や動物には一つ一つの命があって、その命はずっと続くものではないけれど、命がある限り、その人や動物の命を守りたいし、大切にしたいと思いました。

2 来週のおもな予定

日	曜	行 事
28	月	集団宿泊教室【1年生】
29	火	昭和の日
30	水	1年生振替休業日
5/1	木	
2	金	寮保護者総会 生徒集会
3	土	憲法記念日
4	日	みどりの日
5	月	こどもの日
6	火	休日

※学校だより「南中からの風」は、本校HPでも見ることができます。

文責 校長 家興 修一

